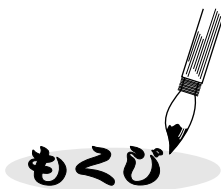


日工販ニュース Vol. 1 - 2011



巻頭言「東日本大震災の一日も早い復旧と復興をお祈りします」		
..... 日工販理事 宮脇隆一郎	2	
議事録「理事会」「調査広報」「教育」「西部地区会員懇談会」	4	
工作機械と私「単体からシステムへ、システムからラインへ 顧客提案型営業の取組み事例」		
..... 双日マシナリー(株) 角田 幸男	12	
私の読書評「外国語上達法」 マルカキカイ(株) 喜多村 久	13
甘口辛口「家族を大切に」 日本GE(株) 秋山 琢生	14
お知らせ「第42回通常総会のご案内」「平成23年度 理事・監事選挙結果」	15
営業マン日記「冠婚葬祭の巻」 さかい三十郎	16
リレー随筆 (株)太陽工機 丸山 毅	18
統計資料「FA流通動態調査1・2」		
「2010年世界の工作機械需給(生産額、国別消費・輸出・輸入額)」		
「主要相手国別輸出・輸入額構成」「工作機械業種別受注額」	19
SE教育「合格者」	26
消息・行事	26
会員会社	28

東日本大震災の一日も早い復旧と復興をお祈りします



日工販理事

宮 脇 隆一郎

(宮脇機械プラント(株)社長)


この度の東日本大震災でなくなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

マグニチュード9.0、震度7という烈震に加えて、瞬く間に海岸に押し寄せ、すべての街並みとそこでの営みを持たれていた多くの人々の命を、一瞬にして飲み込んで行った巨大津波が起こしたあの光景は、想像を絶する無残さで身の毛もよだつものでした。加えて津波による福島原発の破損で漏れ出した放射能災害が重なる三重苦の災害となり、被災地の方々の過酷な状況を想うにつけても、お見舞いの言葉を見つけることができません。

かつて16年前、私たちが経験した阪神・淡路大震災は、国内有数の人口の密集地で、二次・三次産業が集中する都市域での激甚災害として、計り知れない大きなダメージを地元にも与えました。この度の被災地はそれとは異なり、沿岸部の長い距離と面積の広がり格段に大きいために、被災された住民の方々や復旧に取り組んでおられる自衛隊、警察、地元の自治体や企業の社員の方々はいかに及ばず、他地域から支援に来られている各種団体の方々のご苦勞は筆舌に尽くせないものがあるかと思えます。

阪神・淡路大震災が発生したのは1995年1月、日本がバブル崩壊からやっと立ち直り始めたころでした。工作機械メーカー各社の復旧サービス部隊の方々に大変なご苦勞をおかけしたことを思い出します。震災直後の当時は、大阪方面から阪神・神戸・明石方面に直接つながる湾岸部の交通網は全く使用不能で、メーカーのサービス部隊は、車や列車で兵庫県中央部や岡山県の山間部を迂回したり、営業部門の担当者はやっとの思いで臨時のチャーター船に便乗して、海路で被災現場へ急いでいただくなど大変なご苦勞をおかけしました。

私どもの会社でも、当時の顧客担当セールスマン達は、お客さまの取りあえずの復旧を必死



に願いながら、今にも倒れて来そうな傾いた家屋やビルが並び、ホコリが充満し、救急車や消防車のサイレンの響きが行き交い渋滞する異様な光景の道路を、自転車とバイクでお客さまの工場を廻りました。私自身も心労が重なったせいか、目の前が真っ白になりながら車を運転し続けたことを思い出します。被災された工場経営者と従業員の方々の復旧への必死の取り組みと、各メーカーの復旧サービス部隊の方々の心意気あふれる活躍のおかげで、とくにダメージが大きくその場所での復旧が不可能で、新たに他場所の貸し工場や、新しく工場を建設して移転された一部企業を除けば、1カ月を要せず取りあえずの復旧が出来たように記憶しています。

3月下旬も後半になり、混乱と苦闘が続く中でも、東北地方の被災地に繋がる、新幹線、飛行場、高速道路、港湾等の幹線交通網は回復しつつあるように報道されています。交通事情をはじめ電気・水道・ガス等のライフラインの復旧は、阪神淡路大震災の当時よりも一段早いスピードで進んでいると聞き安堵しています。いま、厳しい環境にある被災現場で復旧にあたっている人たちが、使命感を持って一心不乱に仕事に取り組んでおられる息づかいを感じ、震災の経験者としてエールを送り続けたいと思います。

ただ今後気掛かりなことは、原発の破損による放射性物質の流出をどれだけ早く押さえ込むことができるか、また現地の農作物や海産物の風評被害によるダメージを最低限に抑えるよう、どれだけ手際良く対策できるかです。メディア各局による、津波が押し寄せるむごい映像の繰り返し放映や、興味本位とも受け取られ混乱に輪をかけたかねないコメンテーターなどの憶測発言などによる風評被害が、現地の方々や復旧に取り組む人たちに、どれだけ精神的な苦痛を与えることになっているかを自戒させる必要があることを痛感します。たとえ商業メディアとはいえ、このような緊急事態には収益を無視し、ローカルでの地道な被災地域毎の連絡情報の支援や、被災地を元気付けるための全国各地の支援活動などをもっと積極的に伝え、被災者を勇気づけるような見識のある記事と番組をつくり、メディア本来の役割を果たす良識を期待する次第です。

災害地の復旧と復興には特效薬はありません。長い時間の厳しい試練に対する忍耐が必要で、さらに必要なことは、生きることへの粘り強さと頑固な気概をコツコツ積み重ねていくことだと思います。そうである限り終わらない危機はありません。私は、一般論として東北の方々が持っている特質のいくつかの中に、秘められた強烈な粘り強さと素晴らしい頑固さがあるように思います。どうかしっかりと前を向いて歩き続けてください。

一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

第232回 定例理事会

日 時：3月9日(水) 14:30 ~ 16:30

場 所：大阪産業創造館「6階D会議室」

出席者：長久保会長、副会長3名、理事19名、
監事1名、事務局1名

会長挨拶：

本日は議題がかなりありますので会議は効率よく進めたいと思います。ご審議よろしくお願いいいたします。

議 題：

[付議事項]

(1)平成22年度決算見込み：

専務理事より報告

一般会計)

収入：今年度の会費収入は昨年度に引き続き半額。正会員2社の退会と賛助会員6社の入会があり差し引き増。

支出：法定福利費は料率等が上り予算対比増。事業補助費が予算対比減。

結果として支出合計は予算対比減。収支は予算対比改善。40周年記念行事費用は積立金枠内。

教育事業特別会計)

収入：受講生増により受講料は予算対比増。

支出：教育事業費は予算対比減。主な理由としてはSE講座の通信印刷費の予算対比減による。これは通信講座テキスト作成を外注から全て内製にしたこととテキストの改訂費減による。

結果として期初のマイナス予想を回避出来る見通しとなる。

(2)平成23年度役員選挙について：

選挙管理委員会メンバー選出の件

選挙管理委員会を設置、4月7日開票時の立会人として会長より選挙管理委員長に富田総務委員長が、選挙管理委員に三橋監事が指名された。

選挙スケジュールの件

3月18日投票用紙送付、4月6日締め切り、4月7日午後2時開票、同日開票結果を選出された正会員宛て連絡、4月8日に議事録を正会員宛発送とする。

役員定数確認の件

正会員数は69社により平成23年度からの理事数は23名。その結果、東部は1名減の11名、西部、中部はこれまで通りそれぞれ7名、5名。監事は東部、中部、西部にそれぞれ1名で計3名。

以上承認された。

(3)平成23年度事業計画案・予算案策定方針について：

専務理事より事業方針案と主な事業内容の説明。平成23年度は会費半額とする暫定措置の3年目に入り、コストが絡む事業方針について検討。

日工販ニュース(調査広報委員会)：

年10回の発行から発行回数半減案及び日工販ニュースを全てウェブ配信にする案がでている。結論として発行回数は減るがこれまで通り印刷していくことになった。

賀詞交歓会(総務委員会)：

今後は会費については受益者負担を原則として、従来の会員1名無料を廃止の方向とする。

また特別償却対象特定設備等便覧も必要とすると会員に有料で配布の方向とする。

地区活動(東部、中部、西部地区委員会)：

コストを意識しながら会員にとって有益な事業活動はこれまで通り継続。

[報告事項]

(1) 流通動態調査平成23年1月結果、日工会短観

日工会1月の受注発表が28カ月ぶりに1,000億円を超えたが、流通動態調査では前年対比100%を超えているが日工会受注発表の伸びに比較して増加分が少ない。日工会短観の注目すべき点は2月短観の翌月部分に久しぶりにプラスが表れている。

(2) 委員会報告

教育委員会

後藤委員長より報告：3月1日に委員会開催。

22年度は受講生増により赤字を回避出来た。

講師の定年退社に伴い講座が空くことになり委員会で検討結果、アンケートで要望が多かった切削工具の講座新設を決定。今年度国内景気は若干停滞気味なところはあるがベクトルは上向きと判断し、新入社員増を見込み基礎講座は60名を期待。SE講座については150名、更新研修は70名と計画。この計画を是非クリア出来るよう受講生派遣のご協力をお願いしたい。

東部地区委員会

角田委員長より報告：2月9日に委員会開催。行事の中身を濃くすること、勉強の機会を増やすこと、建設業法など業界で問題となっていることなどの説明会を事業に盛り込む方針を決めた。全体として日工販会員になってプラスであったと感じられ会費が高くないと思われるように更に満足を得られるような運営を目指す。

中部地区委員会

高田委員長より報告：2月22日に研修会開催。東部地区・西部地区で実施の「とことん稼ぐ営業員になる！7つの鉄則」の講座で勉強会を実施した。正会員16社46名(受講者16社36名、オブザーバー8社10名)で実施し、申し込み締切前に定員がオーバーとなるほど積極的な参加であった。内容は各地区で実施の通りで、非常に勉強になったという意見が多かった。

西部地区委員会

横幕副委員長より報告：1月26日恒例の新春時局講演会開催。講師は既に12年ほど毎年講演を願っている元三和総合研究所の松下滋氏。比較的予測が当たっている。(予測が当たる理由の一つとして毎年講演をお願いしていることもあり、あまり無茶な予測は出来ない)詳細は日工販ニュース2月号に掲載されているので割愛させて頂くが、結論としてはこの政治的不安定な時期が2014年のサッカーワールドカップまでは続くと話があった。

第109回 調査広報委員会

日 時：3月24日(木) 12:30~14:30

場 所：機械工具会館 5階

出席者：田尻委員長、委員5名、事務局2名

委員長挨拶：

3月11日の大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りしたいと思います。

漸く受注も1,000を超え内需も400億円に迫り順調に伸びてきて、まさにこれからという時でしたが大震災が発生しました。日工販でも少しでも貢献ができたなら良いと思っております。本日は来年度に向けどのような方針でいくのかの議題になっております。先般の理事会でも日工販の収入と支出のアンバランスをどうやって是正していくのか議論され、我々調査広報委員会は各委員会に先駆けて対策を検討しておりますが、日工販ニュースの発行については休刊ということではなく6回は発行との方向性が既に出しておりますので、それに沿って予算を組みたいと思います。

議 事：

(1) 次年度事業計画の件

日工販ニュースについて

1) 発行方針

2年に一度の役員選挙結果報告、総会報告、EMO特集、IMTS特集、JIMTOF特集、忘年会、新年挨拶、賀詞交歓会等、また各種統計資料のタイミングを考慮し、5月、7月、10月、12月(12月はJIMTOF開催年度のみ発行) 1月、2月に発行する事を取り決めた。JIMTOF特集の関係から偶数年度は6回、奇数年度は5回発行となる。発行日は発行月の15日。また各号の発行月表示についてはVol. 1 ~とする。

2) 編集方針

前回の調査広報委員会で「工作機械と私」私の読書評「リレー随筆」甘口辛口」は掲載継続し寄稿者への謝礼基準が取り決められた。22年7月から始めた隔月掲載の「営業マン日記」は毎回掲載。「メーカーインタビュー」は専門家にインタビューを依頼することから交通費・記事作成費用削減のため中止とし、従来からの「話題の技術」を毎回掲載する。

3) 23年度表紙(カラー)検討

景気の上向きを願い、明るい色7種類の中から、紅色(DIC NO.154)に決定。

日工販会員名簿について

昨年同様、印刷までは事務局、製本は外注にて作成、発行する。

予算案策定について

- ・来期の日工会発行統計要覧配布は継続することとなり費用は従来通り。
- ・22年度インターネット関連は予算通りであったが、来期はホームページ制作委託先と交渉の結果従来の費用に比べ30%引きとなり費用の減を見込む。
- ・中古機械情報掲載は掲載会社の減少傾向にあり、かなりの収入減を見込む必要あり。
- ・ニュース発行が年5回となるので、既に作成した予算を見直すこととする。

第99回 教育委員会

日 時：3月1日(火) 12:30~14:20

場 所：機械工具会館 5階会議室

出席者：後藤委員長、委員8名、事務局3名

委員長挨拶：

今期を振り返り来期はどのような施策で行くのか決めなくてはなりません。教育委員会は日工販の中でも中核的な事業を担っておりますの

で、是非確かなものへと十分議論をお願いしたい。

議 題：

(1) 22年度SE講座、更新研修受講生アンケート集計結果報告

受講実績、基礎講座39名、SE講座150名、更新研修88名、永世SE手続き42名。

今期の基礎講座は新人が少なく1回のみで開催。その中で注目されるのは会員外が47%を占めた。

SE講座は予想110名より多い結果となった。更新研修は88名。

SE講座アンケート結果は、不満部分は概ね、時間配分・声が聞きとりにくい等。また、今期に限らず受講生の経験年数・会社業態・担当機種により講座の理解度あるいは求めるレベルに差があることによって不満理由にバラツキがある。

更新研修アンケート結果は、全般で満足度55%以上、不満2%以下で良い結果となっている。2日目の特別講座は満足80%以上不満0%。ケーススタディも良く考えられており非常に好評。

更新研修の今後の希望・改善点等は、個人情報に関して受講者リストの配布を問題視する指摘が1件あったが、検討の結果、配布リストには会社名・役職・名前のみ記載故、個人情報としては問題は無いと判断され、グループ討議の際には受講者リストが必要とされるので、募集要項には予め受講者リストは配布する旨の断りを盛り込むこととする。

(2) 22年度教育事業収支概要報告

受講者増加したこと、及び通信テキストの内製化によるコスト削減が貢献し収支は予想されたマイナスを回避することが出来た。

(3) 23年度教育事業方針について

(受講料、カリキュラム他)

SE教育日程

基礎講座：日本工業大学との調整の上、3月20日以降に日程が決定される見込み。

SE講座： 10月6・7・8日(名古屋)

10月13・14・15日(大阪)

10月20・21・22日(東京)

更新研修：11月11・12日(名古屋)

11月25・26日(東京)

更新研修未終了者の救済

当面期限は付けず救済していく。

受講実績

受講者は永世SE資格手続きを含めて6,033名、現在「日工販SE」資格者は2,516名。

受講料

受講料については従来通りとする。旧更新研修未修了者の特別講座受講料も2万円。

助成金制度

「キャリア形成促進助成金」、「雇用調整助成金」の活用可能。

受講(参加希望)アンケート調査票

3月上旬(今週中)に送付予定

(4) 23年度講座及び講師について

SE講座

「最近の工作機械の展開と活用」の講師が辞めることになり、検討の結果「切削機械の動向」と内容が若干似ているため、「切削機械の動向」に集約し、新たに希望が多かった「切削工具」の講座を設けることとなった。

その他

全体的な意見として携帯電話での対応のため休憩時間は10分では短いという意見が多く来年度は講座間の休憩時間を15分とする。

西部地区会員懇談会

日 時：3月17日(木) 15:00～17:00
会 場：大阪弥生会館 2階「三笠・伊吹の間」
出席者：正会員10社13名、
 メーカー会員10社13名、
 リース会員4社6名、
 計24社32名

現況報告と見通し：

～正会員～

仙台営業所人的災害無し。今週一杯閉鎖。東北地区はお客様も少なく余り影響はない。輸送手段が付いたらガソリン、食料、水等生活必需品を送る予定。今期決算はV字回復とは言えないがU字回復と言ったところ。全体的には90%。特に半導体が大きく回復、工作機械は60%程の回復で輸出比率は20%。中国、タイ、インドネシアが主で中国の強化を図っている。

当社は販売先が関西中心で東北進出の企業が少し有るが殆ど被害は無かった。業種は、機械、設備、工具の3部門だが、機械は対前年比納入ベース70%。

設備は大きく伸びて150%。切削120%。トータルで120～130%。受注ベースは対前年比、機械、設備、工具共に120～130%。東北に工具メーカーは若干有るが工作機械メーカーは少なく今のところ問題は少ない。住宅設備の販売部門の関係でI社やS社のシステムキッチン等の出荷が出来ない状況にある。特にシステムキッチンは換気部分の生産を東北の一社が一手に引き受けており当面出荷が出来ない。当社は機械と工具と住宅機器の三部門で構成しており、当初の目標達成の目処は立った所だが、東京支社の売上比率が

全体の40%程あり、来期は西の方が頑張らねばと思っている。

今月の出荷が殆ど出来ないのはT社。Y社筑波工場やO社等も暫く時間が掛かる模様。東北方面には工作機械メーカーも少なくK社やM社は損傷しており暫く整備調整が必要。その中でH社等多少レベル出し等が必要な程度と思われる。営業拠点は北上、仙台、福島にあり、北上は内陸部にあり被害は殆ど無かったが食料が無く新潟の社員が食べ物を満載して届け、16日も再度新潟から供給した。仙台は社員の何人かは住めない状況にあり、ライフラインの電気と水道は昨日から復旧したがガスの見込みが立っていない。福島営業所は原発から70キロ離れており余り心配ないが家族が精神的に参っており、実家に避難させるとか、支店長を残して一時新潟支店へ、また郡山も支店長と地元の社員を残して新潟支店に移動させた。土曜日から幕張で『どてらい市』の予定だったので大阪から東京に向かったが、静岡で地震に遭遇し8時間かって東京到着、幕張は液状化の為中止せざるを得なくなった。仙台の開催も不可能となった。受注残で東北地区の納入は連絡が取れない所もあり予定の5%～10%はストップになるのではと思っている。今期は機械と工具が55%で、消費財と海外が45%、全体ではピークの80～85%迄回復。機械部は国内がリーマン・ショック前の45%程度ですが、海外が大きく伸び全体で90%になった。来期予想は不透明な所がある。秋田、山形は被害が比較的少なく、東北の仕事がそちらへ流れたり、関西中部方面へも流れるのではと思われる。

仙台に事務所があり人的被害はない。建設機械のレンタル会社があるが、30台程の発電機

が全部予約済。当社は日本、米国、中国、東南アジアの4極体制だが米国はGMが1年で復活、自動車・航空機関係を主体にリーマン・ショック前に戻っている。タイとインドネシアが好調でインドネシアは特出しておりリーマン・ショック前より5割アップ。中国は4割増。国内は売上の25%が建設機械で公共投資の削減で全体では65%回復。

私共は明石が本拠地で震災ニュースを見て阪神淡路大震災を改めて思い出した次第で、我々は真っ先にお客様の所へ駆けつけた事を思い出します。当時のNC機は本体と制御装置が分離されており、コードが切断し本体とバラバラになった光景を思い出した。今回は受けている機械の納期は大丈夫ですかと尋ねられたが納期遅れの物件はない。しかし、今後の受注に対しては色々心配している。09年度の受注は1/6迄落ちたが10年は売上、受注共75%前後回復した。特に建機や油圧機器関係の大手及びその関連の中小企業は大変忙しく設備投資もして頂いたが、それは一部であって件数の多くの零細企業は、全く元気がなくこの先も大変厳しいと見ている。我々は当たり前を当たり前でコツコツやってみて行かないと思っている。

震災で転注の依頼がある。乾電池の国内生産が3月で無くなる予定だったが急遽引き続き生産という所もある。私は工作機械業界で41年になり、今迄は受注が1兆円あれば製販ともソコソコ利益が出ていたが、リーマン・ショック以降はメーカーさんだけが一人勝しており、2010年度は1兆円を超えたが、国内は30%程でしかもその6割前後が大手で占めており、残りの僅かで我々商社は戦ってきたわけだが、昨年の10月頃から徐々に良くなり、2月度は更に回復してきているが機械部門はまだまだ心配。海外の鋳物部隊は頑張ってくれており、T社の国内生産分で中国及び中近東へ輸出している車の搭載品で、1,000円位の

三角停止表示板が、昨年の7月頃は4,000台程だったが今は1万台を超えている。

東京と仙台に営業所があり取り敢えず情報収集に努めており、ポツポツと情報が入ってきている。お客様のために5~20の燃料容器を300個程送る準備をしている。東北の仕事が関東周辺に転注されている様にも聞いている。また、関東の得意先が関西に工場を出された所があり本社とオンラインで図面の通信が出来ない問題もあったとのこと。当社は5月決算だが、09年度はリーマン・ショック前の65%。10年は70%で、今年は80%程を予測している。売れ筋業種は、LED、半導体、コネクタ、シリコン、医療、カメラ携帯レンズ回りのお客様が主体で最近海外向けの売上受注も増えてきている。また、廃業、縮小などで販売の依頼もあり中古機械販売もソコソコ増えている。

直接的には震災の影響はなかった。弊社は09年度、10年度何とか黒字で終える事ができた。来期は更新需要が徐々に出てきたのでソコソコ利益を確保できるのではと思っている。しかし、この度の震災で日本経済の先行きも不透明で、来期の設備計画は暫く様子を見られる企業も多く、四半期ごとの進捗状況を見ながら早め早めに手を打って行かねばと思っている。

今年はまだあまの数字で決算は何とかなりそのような状況。震災の為、為替・株式の乱高下で不安定要素が出てきており、来期の計画をどうしたらよいものか頭を悩ませている状況。

～メーカー会員～

工場が西日本に集中しており余り被害はなかった。但し、郡山の電子デバイスの工場と東北支社が被害にあった。郡山はラインの調整など暫く時間はかかる。東京電力、東北電力の原発は日立・東芝が主で当社は関西電力

が主で福井の原発は津波対策等を行った程度。原発の影響で休止していた火力発電再開の立ち上げで忙しい。放電加工機の国内総需要は納入で06年2,400台、09年650台、2010年約800台、2010年受注は1,000台。西日本地区へ仕事の転注の話も聞いている。銅板用の切断に大型レーザー加工機の引き合いが増加している。

青森迄を含めると4,000社程の納入ユーザーがあり、震災で機械が移動しておりレベル出し等の依頼を受けている。秋田は平常と変わらない。ガソリンは長蛇の列で10 入れるのに4時間程かかった。受注している仕事を関西方面に転注する企業も始めている。3月は例年3倍程の出荷だが、東北地区で2社程受け入れが出来ない程度。千葉の工場は天井が落ちた程度で少し生産支障はあるが殆ど影響はない。欧米は少しずつ良くなりアジアにおいては少し厳しくなりつつある。

震災の直接的な影響はないが関東方面の営業活動は皆さんと同じ。リーマン・ショック以降、工作機械の受注は09年1～3月がどん底だったがCAD/CAMは半年程ズレ09年7月～10年6月迄底が続き10年10月位から上向いてきた。02年頃迄は金型向け商品が85%占め、部品加工向けは15%程だったが03年を境に部品加工向け商品が大きく伸びリーマン・ショック迄は良かった。現在は金型向け20%、部品加工向け80%となり部品加工向けが圧倒的に多くなっている。私共は部品加工向けの商品で、2次元図面で2軸及び2軸半の加工する商品と3次元2次元のデータを呼び込み、同時5軸までの処理が出来る商品を持っているが、03～08年迄は2軸と3軸の比率は32%位だったが、最近の傾向は3次元2次元データを読みながら2～5軸まで加工出来る商品の割合が09年は53%。

10年は79%、1～3月は83%と3次元データを読む商品が増えてきている。

北関東営業所にサービス員を100名程配備して復興体制を取っている。しかしガソリンの関係等で現在はそれほど機能していない状況。東京、山形、群馬、青森はお客様と連絡が取れ、2～3割のお客様から支援要請を受けているが、岩手、宮城、福島は電話が繋がらない状況。機械の生産は東北方面にはサプライヤーがないので直ぐには影響が見受けられない。輸出関係も名古屋港なので問題はない。今後売上について北関東方面は色々問題が出てくるのではと思っている。先程メーカーは儲かっているとおっしゃっておられましたが、漸く水面から顔を出しかけたところで、今回の震災のショックを受けており、リーマン・ショック後1/4に落ちた受注が漸く55～70%になり、損益分岐点を下げギリギリの状況。

仙台に営業所があるが社員は全員無事。営業所はグシャグシャで仕事出来る状態ではなく家族は関西に帰らせている。ツーリングは元々海外比率が10%程だったが現在は30～40%。お客様の仕事量は70～80%迄戻っているが当社は60～70%で東日本、西日本、中部地区の順で今後東日本が落ちる分、西日本と中部で頑張らねばと思っている。

筑波、仙台テクノロジーセンターの被害が発生し、お客様に見えていただける環境ではない。営業所の郡山、筑波、仙台テクニカルセンターは復旧した。東京支社に震災対策本部を200名体制で設け状況確認から行っている状況。今期の10月～3月国内は特に東日本が良かったが、今後震災で中部、西部でどれだけバックアップ出来るかといったところ。海外は中国、アジアが忙しく小型機種でも納期が4カ月程掛かっている。全体としては7割程度まで回復。

仙台営業所は人災もなく営業所の片付けは1日で終わったが食事等暫くは苦労すると思われる。売上の比率はツーリング、円テーブル、

リーマの順でどの分野も7割程度回復している。元々内需が中心で輸出は僅かだったが現在は20%。半導体、建機に目立った受注がある。円テーブルは海外が多くなっている。国内は自動車関連が増えている。リーマは震災までは東日本が良くなっていた。中国で大型円テーブルを大量受注したが他に影響の無い様、増産体制を取っている。

切削工具メーカーは、生産拠点は中部地区で震災の影響は殆どない。営業拠点の仙台、郡山は休業しており所員は自宅待機。11月決算で2010年は2008年ピーク時の約80%で11月以降は、85~90%まで回復し、注残も増えており生産はフル生産している。内外比率は半々で、今後海外が伸びるが国内は震災の影響を心配している。

東京営業所の所員は無事。お客様と連絡を取っているが未だに7社程連絡が取れない。所員もガソリンの関係もあって今は自宅待機。業績はピーク時の60~70%といったところ。外需が60~70%に増えつつある。殆どが東南アジアで、円高で厳しい環境。来期は90%程迄戻したい。

仙台、郡山に営業所があるが人的被害はない。東電の計画停電の連絡が曖昧で生産計画が立てにくい状況。今後どの程度影響が出るのか不透明。当初の計画は達成出来るがピーク時の70%程度まで回復。国内30%、東南アジア40%で東南アジアが牽引してくれている。部品調達の価格は上がりつつあり、来期は少し強気と思っていたが震災の関係でどうなるかと言うところ。

~ リース会員 ~

リース料が払えない申し出に対しては優先的に対応する様に指示があった。海沿いの地域は機械のリース物件は比較的少ない。今期並びに来期の業績見通しを多くの商社メーカーに聞いて見ると、海外は好調で海外がらみの

話が増えている。国内は相変わらず厳しく、引き合いがあっても09年の決算書をリース会社が普通に見たら到底審査が通らないがその後の回復度合いや、導入効果を確認して決定する様に上から指示をされている。

東北支店を中心としたユーザーから支払い猶予の話があった場合は前向きに対処を行なう。国内業績貢献地域は東京と大阪の2拠点だが、中国、東南アジア、アメリカの案件等で何とかボーダーラインをクリアしている。関西のお客様でも震災の関係でリース契約の話しが先送りになっているところがある。関連会社の生命保険代理店(節税の為の保険)があるが、リーマン・ショック後業績の落ち込みで解約が相次いだが10月以降業績回復で保険の加入が増加している。

当社は関西中心で震災の影響は余りないが、震災の関係で支払いが遅れる話が出てくれば先ずお話を聞いて対応させて頂く。リスクジュールの話は最近落ちてきてきているが今後震災の関係でどうなるのか心配している。昨年の後半リーマン・ショック前の50~60%迄戻り今年に入り更に案件も増えているが、頂いている決算書はリーマン・ショック後の一番悪い数字でありお断りしなければならない案件も多い。

拠点が水戸・山形・仙台で、仙台事務所は影響が激しく山形に移管している。弊社はこの災害復興支援に対して500万ドル程支援する予定。リース物件に対してお客様は混乱しており、リスクジュールの話はまだないが出てくれば前向きに対応させて頂く。滅失している場合は当然解約となるが一括請求はしないで相談しながら対応して行きたい。機械の引き合いは秋口から回復傾向にあり特に建機と油圧がらみのお客様が目立っている。更新需要の引き合いも増えているが、決算書だけの審査では無理なので、その後の回復傾向を見て前向きに検討している。

工作機械と私

『単体からシステムへ、システムからラインへ 顧客提案型営業の取組み事例』



双日マシナリー(株)
名古屋支社 第一グループ
チームリーダー
角 田 幸 男

私は2001年4月に現在の会社の前身である日商岩井中部機械(株)へ入社致しました。今年は私が商社マンとなって丸10年、その間に色々な経験を積む事ができた区切りの年なのですが、この度『工作機械と私』への投稿の機会を頂きました。投稿テーマは成功談・失敗談何でも良いとの事でしたが、折角の機会ゆえ成功 自称ですが)事例について、紹介させて頂きたいと思います。

さて、私が入社した当時は、愛知県三河地区にある某自動車メーカーさんが、世界の自動車会社を目指し、世界生産拡大を急速推進し始めた時でもあり、我々も自動車産業に引っ張られ、非常に忙しい頃だったと記憶しています。

私の会社もこの土地柄、自動車関連企業を主力取引先としており、お客様同様忙しい毎日でしたので、産業機械メーカーからの転職であった私は、新任の挨拶も早々に、初日から技術打合せや調達交渉へと、商社マンとしての心構えも出来ていない状況での即実戦配備でした。私が担当したお客様も、上述関連の自動車部品製造会社であり、これから数年で過去経験のない大規模な新規設備投資を国内外で実行される時でした。

国内のお客様の場合、一般論ですが生産技術は自社が保有している場合が多く、購入される設備機械は工程毎に切り分けられています。お客様作成の仕様がほぼ固まった購入予定仕様書に基づいて、商社はメーカー作成の見積仕様書により見積を出すパターンが一般的で、私が当時担当したお客様も同様でした。つまり設備購入においては、お客様と設備メーカーが主役となり、我々商社が活躍できる即ち‘商社がお客様に貢献できる’チャンスが少なかったわけです。

この状況下で我々商社が考えなければならない事は、如何に存在価値を發揮し、且つ商談を優位に進める事が出来るかです。そこで私は、多忙なお客様、生産技術スタッフに代わって、その時お客様が抱えていた課題の克服方法や、生産技術スタッフが宿命付けられている‘新しいアイデアを織り込んだラインの構想’に向き合うための検討の場面作りに努めました。また、国内の場合、製造プロセスは完璧に工程分割されており、それぞれの工程を受け持つ設備メーカー及び工程間をつなぐ搬送メーカーが、お客様のビジョンと合致している必要性から、単独のメーカーではなく、各メーカーを参画させる事に致しました。

具体的には商社である当社が旗振り役を務めながら毎月の定例会議をセッティングし、それぞれ得意分野が異なる複数メーカーを一同に集め、テーマの解決に向けたディスカッションを数年継続致しました。これらの活動は、『お客様満足度の向上と、単体ではなくライン提案』を可能にし、商社としての存在感を發揮する事が難しい国内商売において、意義のある仕事が出来たと今でも思います。

当時一つの目標に向かって議論を重ねたお客様や各設備メーカーとは、今日においても大変友好的な信頼関係が継続出来ており、それぞれの後継者に引き継がれ、大きな財産となっております。

「外国語上達法」 千野栄一 著（岩波新書 1986年1月初版発行）



マルカキカイ(株)
大阪産業機械第二部
喜多村 久

近年工作機械販売も海外需要が国内を上回り、海外を相手に仕事をする機会が増え、語学の必要性も高まっています。社内公用語を英語化、昇進条件にTOEICのスコア等の話も最近良く耳にするようになりました。本屋へ足を運ぶと、大きな棚を言語学習書が埋め尽くしています。そんな棚を埋め尽くす本の中から、私が最近読んだ本を紹介させていただきます。題名は「外国語上達法」。

本書は私が生まれた1986年に初版が出版されて以来、25年間読み継がれている、名著とも呼ばれる本です。英語を専攻していた学生時代から本書の存在は知っていましたが、今まで読む機会がなく、先日本屋で偶然目にして購入してみました。

本書は語学が苦手と自称する筆者が、複数の言語を習得する中で発見した「外国語上達法」を紹介しています。英語だけでなく全ての外国語が対象です。筆者によると、語学学習にはコツがあり、それらを知ることにより、苦勞をした挙句、未完に終わる可能性すらある学習をずっと楽にするということです。

本書の構成は「初めに」、「まとめ」を含む「目的と目標」、「語彙」、「文法」、「教師」など計12章で書かれ、各章で学習のコツが語られています。その内容は、とにかく1,000の語彙を習得、学習の目的と達したいレベルの設定する、などです。私が思わず赤ペンで線を引いてしまったのは、筆者が語学の神と呼ばれる人物に外国語学習で必要なものを聞いた時の回答です。その答えは、お金と時間。人はケチだからお金をかけるとそれを無駄にさせまいという気が起こり、その時間が無駄にならないようにと予習・復習をする。正直、内容に奇抜さはなく、成程とは思いますが、当たり前といえば当たりのことです。しかし、それが外国語学習の真理であり、本書が長年読み継がれる理由なのかもしれません。

学習のコツだけでなく、筆者のユーモアのある語りや、外国語に関する様々な体験談も面白く、かつ学習意欲が掻き立てられます。1章20ページ程と簡潔で、読み返すのも容易です。また、上達法は全ての外国語が対象なので、新しい外国語学習にも有効です。この点が本書の価値を高めていると思います。

私はタイに駐在していたことがあり、その時は主に英語を使って現地の人と仕事の話をしていました。しかし、現地の方々と良い関係を築くには現地の言葉を使うことが重要だと感じました。現地企業との取引拡大を考えるのであれば現地語の必要性は高く、今後の競争の中で不可欠となるはずで

本書には楽に外国語を習得する魔法のような方法は書いてありません。しかし、回り道をせず、長い道程の先にあるゴールへと導くコツが詰まっています。是非語学を勉強する人に読んで頂きたい本です。本書に、良い教師は生徒に学習を諦めさせないとありますが、本書こそが読む人にやる気を与えてくれる良い教師です。

思えば私のタイ語教師も良い教師でした。タイで受けた1対1のタイ語講座で、新しい言語を学ぶのは楽しいと思わせてくれました。ただ1つ気がかりなのは、その先生はどう見てもオカマであったため、私のタイ語がオカマ口調になっているかもしれないことです。

『家族を大切に』



日本GE㈱
関西第二支社 工作機械営業部 部長
秋山 琢生

この度の東日本大震災で被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。3月初旬に『甘口辛口』コーナーへの寄稿依頼を頂戴し、どんなテーマでどんなことを書いたら良いものかと思案していた3月11日にこの度の東日本大震災が起こりました。あの日以来、私がこの原稿を書いている4月6日現在においても、原発・放射能・計画停電等々の問題が山積しており、解決の糸口が見つかっていない状況が続いております。

私の実家は相模湾の海岸線から5km圏内に位置しており、小学生の頃からいつ東海地震が起こっても不思議ではないと言われ続け、夏休み明けの9月1日に教室のイスの座布団がわりにする防災頭巾を忘れて、先生にひどく叱られたものでした。そのため、大震災後の津波のテレビ映像を見た時、他人事とは思えず身震いがして、本当に居た堪れない気持ちになりました。

また、更に私の心を痛めたことは地震発生時刻が14時46分と日中に起こったため、学校や職場や自宅等において離れ離れになってしまったご家族が多数いらっしゃるということです。もし自分自身が被災し、自分の家族が一人でも欠け、自分自身が残されたなら、と思うと心が痛んでやみません。気丈に振舞うことなどできるのだろうか？そう思うと改めて家族の大切さを痛感致しました。

日頃、私は日々の営業・事務処理に追われ、帰宅が22時や23時になることが頻繁にあります。また飲み会ともなれば0時を過ぎることは当たり前になっております。平日に妻や子供達と顔を合わせ、じっくりと会話することなどほとんどありません。お互いがその状態を当たり前と感じてしまっており、家族の大切さ・掛け替えの無さに対し、非常に鈍感になってしまっております。工作機械メーカーの方々や商社の方々も、平日の残業や土日の搬入・展示会等々の出勤でご家族とのコミュニケーションが希薄になっている方が多数いらっしゃるのではないのでしょうか？

ただ、やはり本当の窮地に陥った場合、最終的に自分自身の支えや拠り所になってくれる又はなれるのは家族しか有り得ないと思っております。そう思うと、これからは常日頃からもっと家族を大切に、ワークライフバランスを考えながら(勿論やるべき仕事はきっちりとやります！)日々の生活を送って行くべきではないでしょうか。

今後、震災後の復興の過程で仕事や日常生活においてさまざまな予期せぬ出来事が起こる可能性があります。家族を大切に、この困難を乗り越えて行きましょう！。

第42回 通常総会のご案内

当協会では下記により第42回通常総会を開催致しますのでご案内申し上げます。ご予定願います。

期 日 / 平成23年6月8日(水)

会 場 / 八重洲富士屋ホテル

総 会 / 13:00～13:40

記念講演 / 14:00～15:40

演題:「脳が若返る方法」

講師: 米山公啓(よねやま きみひろ)氏 作家、医師(医学博士)

日本老年学会評議員、日本脳卒中学会評議員

懇親パーティ / 16:00～17:50

平成23年度 理事・監事選挙結果

平成23年度の役員選挙は去る4月7日(木)、日工販事務局で選挙管理委員2名立ち会いの下開票され、集計の結果、下記の会員会社が選出され、6月の総会以後2年間協会運営の職務を担っていただくことになりました。

選挙立会人 選挙管理委員長: 富田 薫 委員: 三橋 誠

理事会社(五十音順)

東部地区11社: 伊藤忠マシンテクノス(株)、(株)兼松K G K、住友商事マシネックス(株)、
双日マシナリー(株)、(株)トミタ、(株)豊通マシナリー、(株)N a I T O、丸紅マシンツールズ(株)、
三井物産マシンテック(株)、三菱商事テクノス(株)、ユアサ商事(株)

中部地区7社: (株)井高、三栄商事(株)、サンコー商事(株)、三立興産(株)、(株)東陽、(株)不二、山下機械(株)

西部地区5社: 赤澤機械(株)、伊吹産業(株)、植田機械(株)、京華産業(株)、宮脇機械プラント(株)

監 事 東部地区: (株)テヅカ、 中部地区: 下野機械(株)、 西部地区: (株)山善

なお、同時投票により専務理事の宇佐美 浩氏は信任されました。投票数は下記の通りでした。

投票数	正会員(投票権数69)	68票	投票率	98.55%	有効	62	無効	6
(内訳)	東 部(投票権数33)	32票	投票率	96.97%	有効	31	無効	1
	中 部(投票権数20)	20票	投票率	100.00%	有効	17	無効	3
	西 部(投票権数16)	16票	投票率	100.00%	有効	14	無効	2

4月14日追加選挙報告

東部地区理事 住友商事マシネックス(株)辞退のため、「役員選挙に関する申し合わせ」による繰上げにより、(株)共和工機が繰り上げとなりましたが辞退のため、(株)ナチ常盤が就任いたします。

冠婚葬祭の巻

さかい三十郎



三十郎は結婚式に縁がある。主役経験は一度だけだが、受付から司会役へと進化し、来賓・仲人・親族代表挨拶まで経験した。新人の頃は先輩の元彼の結婚式乱入を防ぐためのガードマン役も経験した。(この先輩は2008年春に定年退職された)

式場では「下手なうえに長いスピーチをする御仁」に出会った事も何度か。短い時間で会場を和ませるスピーチを見習いたいものだ。

そこで皆様方へ三十郎が使った挨拶例を紹介させていただく。何れも出席者層に合わせたピンポイントテーマで、3分以内に終わらせるのがコツです。以下ご参考まで。

自然界の数字を説明し「要領良く生きる」ことを紹介する。(三十郎オリジナル)

“曲がった事はしない、真っ直ぐに生きるように” このようなスピ・チを行なう人もいますがこれは間違っています。何故かって？

私たちが生きている地球の地軸は傾いています。何ど「23.4度」も。真っ直ぐに立っている人こそ傾きながら曲がって歩いているのです。

地球の空気中の酸素濃度は僅か「21%」残りの大部分は窒素であり、人間は不純物が無いと生きていけないのです。また真水も飲むことは出来ません。“塩分4PPM”と不純物があるから飲めるのです。これらは真面目なだけ純粋なだけでは、世の中生きていけない事の証明です。

横断歩道を横断する際、左右を良く見て渡ります。でも左右100mの視界に車が見えなかったらボタンなんか押さずに、安全に渡り切りましょう。要領良く生きましょう！

毎月初めの1日は、50年間生きるとして年12回×50年で600回あります。しかし1月1日は年に一回であり50年で50回あります。でも今日という日は一生に一度しかありません。一日一日を大事に生きてください。日々是好日。(淀川長治先生の講演から引用したもの)

人を守ってこそ、自分を守れる。自分の事しか考えぬ奴は、自分の家庭をも守れない奴だ。(黒澤明監督作品「七人の侍」で勘兵衛が村人を叱咤した言葉)

三十郎は警視庁に勤務する長男の結婚式で採用しました。

二十代には二十代の青春があるように、三十・四十・五十代にはそれぞれの青春があります。夢を持ち続け挑戦していきましょう。(加山雄三さんの言葉)

人生に必要なものは「少しの金」と「少しの勇氣」、そして「守る家族」です。(チャップリンの人生訓から)

今日は1月5日です。今年も残り360日となりました。年末年始の準備はよろしいでしょうか。人生、早め早めに手を打ちましょう。

(落語家、桂歌丸師匠がテレビ番組「笑点」の自己紹介で使われていました。)

こんな自己紹介も時には喜ばれました。(数字の3をキーにした挨拶)

「さかい三十郎、33才。JR中央線武蔵境駅の境南町3丁目、3階、303号室に住んでいます。子供は3人。長男・次男は少年野球で3番サードさかい。

今は生活に余裕がなく散々(33)な日々にあります。将来はサンサン(33)と輝くことを夢みています。よろしくお見知り置きください。」

宴会の席ではこんな挨拶も行なった。

「私、生まれも育ちも福岡県柳川市です。団子屋の次男坊として産湯をつかい、親父の名は房次郎、祖父の名は初次郎。私が寅年に生まれたら間違い無く“団子屋の寅次郎”と名づけられた男でございます。」

昭和40年頃のテレビ番組「ナショナル提供・ズバリ当てましょう」の司会者(泉大輔氏)が臨席された披露宴で司会を行い、軽妙洒脱に行なったことから評判を受けたことも。

披露宴やパーティーでは抽選会も開催される。こんな抽選会に出会ったことも。

平成4年、JR大阪駅近辺に新装したホテルの披露パーティーに出席した時のこと。約500人が招聘され披露パーティーが開催された。三十郎は300人規模の宴会を予約しており招かれたもの。料理の品定めなどを完了し満足を覚えた頃、抽選が始まった。

ホテル司会「これより皆様方へ感謝の意を込めて福引抽選会を行います。皆様の胸札の右下に番号が記載されています。これから読み上げます番号と一致された方が当選者となります。」

このようなオープニングから抽選が始まり会場は静寂となった。しかしこの当選者の名が5人呼ばれたところで三十郎は気付いた。「これは偽抽選だ！」

呼ばれた名は「航空大阪支店長。建設社常務、電気工事社部長、装飾社長、府議会議員などなど」である。余りにもひどい、というかお粗末である。抽選箱の中身は偽装工作されているだろう。三十郎の傍にいた出席者(民間企業者)も呆れ、互いに目配せした。

こんなホテルに宴会を予約した自分が嫌になり、ホテル係員にキャンセルを申し出た。先方は理由を求め三十郎は答えた。「客の応対がまともに来ないホテルに、大事な客を呼ぶことは出来ない。先ほどの抽選会が全て。先方は二の句が告げないでいた。」



結婚式でスピーチを依頼された男の映画がある。「祝辞(1985年、栗山富夫監督)」定年前の万年課長(財津一郎)は専務の息子の式で祝辞を依頼される。口下手な課長は本やビデオから内容をまとめりハールも念入りに行く。いざ本番会場では前のスピーチ者が同じ内容を紹介してしまう。焦る万年課長のスピーチや如何に。見てのお楽しみです。



リレー随筆



(株)太陽工機
営業部中部営業所
丸山 毅

早いもので桜も咲き、私の一番好きな季節になりました。

前号の(株)日本精機商会の秋田さんが学生時代の事を書かれておりましたので、私も便乗し、入っていたサークルについて書こうと思います。

大学入学の際、女の子にモテそうというどうしようもない理由でテニスサークルに入りました。しかし工学系の大学だった事もあり、女の子も少なく、それに加えテニスにも全く興味の無い私が続くわけもなく、一週間もすると行かなくなってしまいました。

そんな時、最寄り駅でダンスの練習をしている大学の先輩を発見しました。またもやダンスが出来たら女の子にモテるのではないかという理由でダンスサークルに入部。そのサークルのメンバーは男率100%の強面な人達の集まりでした。しかし、その先輩方が繰り出すダンスはとてもカッコ良く、一瞬で惚れてしまいました。それ以来、アホみたいに毎日毎日ダンスを練習するようになり、絶対出来ないと思う技でも少しずつ出来る様になりました。

練習は主に駅前です。同じ場所でダンスしている人達とは自然に仲良くなります。他の人から見ればTHE 強面 みたいな方々もいますが、気さくな良い人達ばかりでした。ダンスで知り合いになった方は今でも親交があり、良き仲間です。

練習を始め1年が経つ頃には発表の機会が出てきます。基本は周辺大学での出し物(文化祭等)です。それ以外では、主にバーやクラブでの発表になります。スポットライト&ミラーボールをガラガラに受けながら100人程度の前で大体5~7分程踊ります。始まる前は緊張と興奮でプルプル震えたりもしますが、生まれれば全力でやるまでです。5分間という短い感じもしますが、終わると疲労で精根尽きた状態になります。

ダンスを終え、拍手を頂けるとやっぱり嬉しいもので、また次も頑張ろうという気持ちになります。ダンスが出来て女の子にモテたかと言うと実際そんな事はありませんでした。男友達には不自由な生活でした。始めたきっかけは女の子にモテたいと言うどうしようもない理由でしたが、私にとって良い経験だったと思います。

工作機械業界に入り3年になります。まだまだ学ぶ事が多く毎日大変ですが、この業界でも多くの方と出会えるのを楽しみに頑張っていきたいです。

次に私が紹介するのは、伊吹産業(株)名古屋支店の小森俊輔様です。この方はとても気さくでまじめな良い方です。

統計資料

工作機械・F A 流通動態調査 1

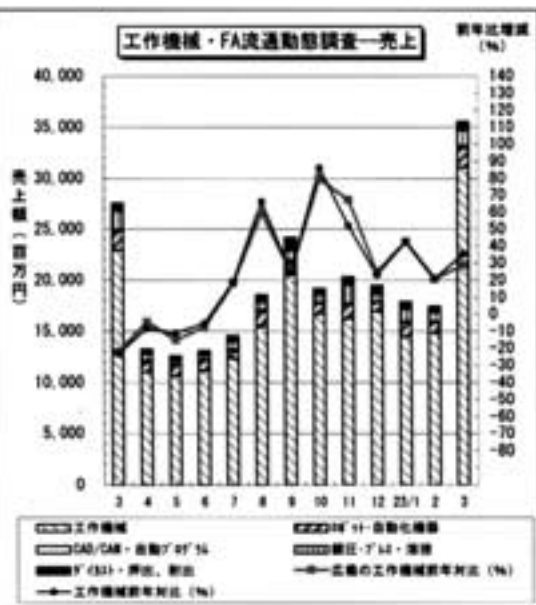
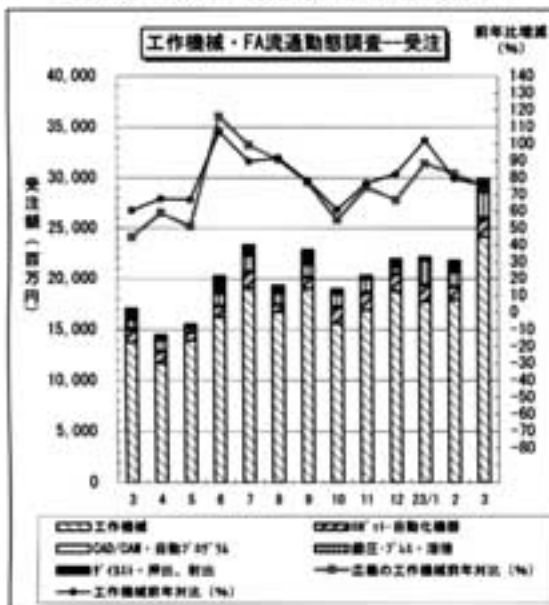
統計1 単位百万円

調査月次	受 注					売 上				
	23/3	前月比	前年比	22/4-23/3	前年比	23/3	前月比	前年比	22/4-23/3	前年比
39社合計										
工作機械	24,156	34.6%	75.6%	207,541	81.1%	31,064	109.4%	35.4%	191,668	26.9%
メック・自動化機器	1,644	39.2%	36.9%	15,491	29.5%	1,906	92.1%	4.6%	13,448	8.3%
CAD/CAM・自動プログラム	258	69.2%	62.0%	1,736	7.7%	239	143.9%	41.2%	1,667	9.5%
組立・プレス・溶接	2,448	81.8%	196.7%	15,407	95.7%	1,467	67.0%	-21.2%	10,760	6.7%
ダイカスト・押出・射出	1,356	15.1%	18.5%	10,684	100.5%	880	38.6%	14.4%	8,543	107.1%
小計	29,860	36.9%	74.8%	250,660	77.5%	35,556	103.9%	29.0%	226,074	26.2%
工作機械以外の扱い商品	10,624	13.2%	-8.0%	116,293	36.8%	13,284	45.0%	2.2%	117,957	32.6%
合計	40,484	29.8%	41.4%	367,153	62.2%	48,839	83.6%	20.4%	344,031	28.3%
従業員数	1,290	-0.1%	-3.7%							

統計2 単位百万円

調査月次	受 注					売 上				
	23/3	前月比	前年比	22/4-23/3	前年比	23/3	前月比	前年比	22/4-23/3	前年比
29社合計										
直販	15,531	16.0%	22.4%	148,703	56.8%	18,242	71.7%	19.7%	135,942	28.9%
(内リース)	1,079	15.6%	-6.2%	10,180	100.5%	1,685	55.9%	67.9%	10,708	33.9%
卸	8,928	40.1%	69.1%	57,513	75.5%	8,729	91.2%	50.0%	58,354	39.8%
輸入	354	114.5%	-427.8%	2,339	28.6%	264	-61.7%	-86.0%	3,973	-50.4%
輸出	3,857	-11.0%	19.0%	48,851	112.9%	4,598	78.7%	15.2%	40,467	42.7%
(内間接輸出)	317	-20.2%	14.9%	6,229	115.3%	579	-9.0%	-3.2%	5,492	65.9%
従業員数	971	0.0%	-2.9%							

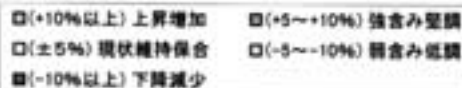
注：本調査は、20年4月より集計対象会員を見直し、前年分も集計し直した数値と比較した。
 会員69社中統計1に関しては39社、統計2に関しては29社の回答を得て集計したものである。
 折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。
 参考までに今月のデータ提供会社総数は42社である。



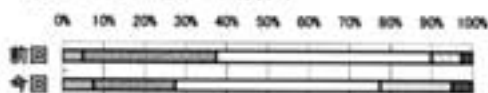
工作機械・FA 流通動態調査 2

今回平成23年4月調査/前回平成23年1月調査対比

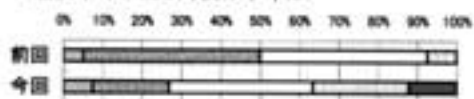
1. 工作機械全体見通し



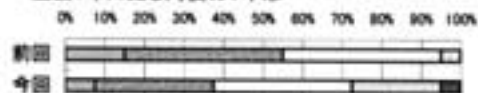
現状に比し直近(1~3ヵ月)は



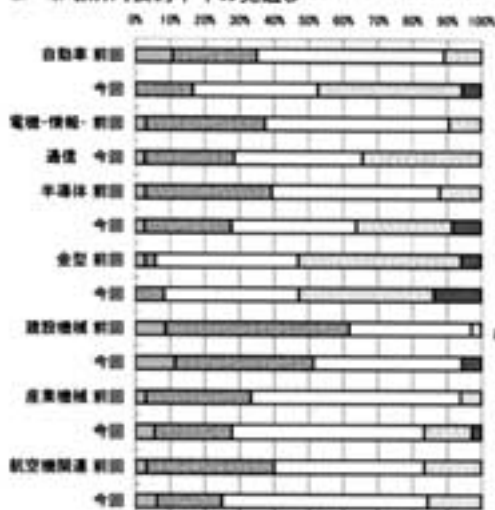
過去半年に比し向後の半年は



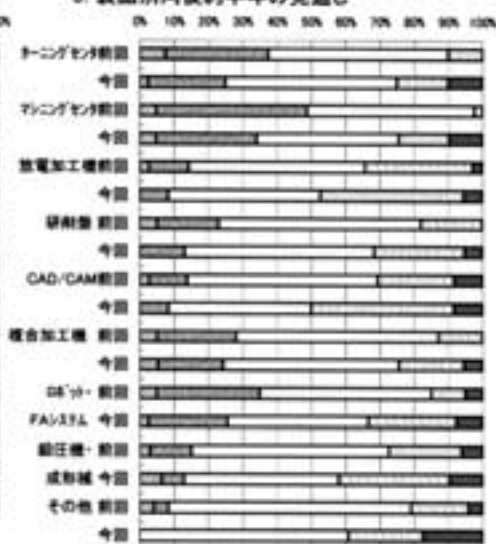
過去1年に比し向後の1年は



2. 市場別向後約半年の見通し



3. 製品別向後約半年の見通し



4. 地域別向後約半年の見通し

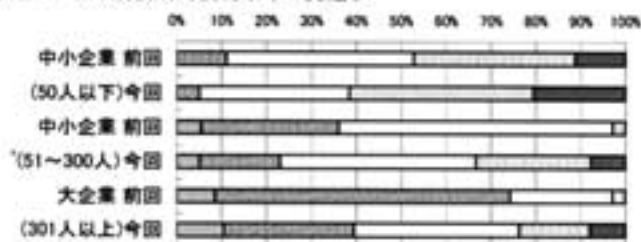
国内:



海外:



5. ユーザー規模別向後約半年の見通し



注: 調査データは日工販ホームページをご覧ください。

2010年 世界の工作機械需給

生産額

(単位：百万ドル)

	2010年(速報値)			2009年(確報値)			対前年伸び率%		
	合計	切削	成形	合計	切削	成形			
1 中国	19,980.0	14,585.4	5,394.6	15,300.0	11,628.0	3,672.0	31%		
2 日本	11,841.7	10,539.1	1,302.6	7,007.0	5,815.8	1,191.2	69%		
3 ドイツ*	9,749.9	6,824.9	2,925.0	10,800.1	7,884.1	2,916.0	-10%		
4 イタリア*	5,166.4	2,738.2	2,428.2	5,242.2	2,673.5	2,568.7	-1%		
5 韓国	4,498.0	3,103.6	1,394.4	2,758.0	1,903.0	855.0	63%		
6 台湾	3,803.3	2,928.5	874.8	2,266.4	1,745.1	521.3	68%		
7 スイス*	2,185.4	1,835.7	349.7	2,164.5	1,753.2	411.3	1%		
8 米国	2,026.2	1,458.9	567.3	2,218.9	1,686.4	532.5	-9%		
9 オーストリア*	908.9	581.7	327.2	897.4	574.3	323.1	1%		
10 スペイン*	812.1	536.0	276.1	1,035.9	663.0	372.9	-22%		
11 ブラジル	714.2	uc	578.5	135.7	714.2	c	578.5	135.7	0%
12 トルコ*	555.0		144.3	410.7	441.3		128.0	313.3	26%
13 インド	525.0		451.5	73.5	278.0		225.2	52.8	89%
14 フランス*	503.4		352.4	151.0	557.6		390.3	167.3	-10%
15 英国*	471.0		339.1	131.9	438.4		306.9	131.5	7%
16 カナダ	459.6	c	285.0	174.6	434.0	c	269.1	164.9	6%
17 オランダ*	369.6		73.9	295.7	369.9		74.0	295.9	0%
18 チェコ*	346.0		311.4	34.6	433.0		372.4	60.6	-20%
19 ベルギー*	316.6		31.7	284.9	368.5		36.9	331.7	-14%
20 スウェーデン*	249.7		109.9	139.8	233.3		102.7	130.6	7%
21 ロシア	239.7	u	141.4	98.3	229.3		135.3	94.0	5%
22 フィンランド*	151.0		15.1	135.9	153.0		15.3	137.7	-1%
23 メキシコ	132.5	uc	68.9	63.6	132.5	c	68.9	63.6	0%
24 オーストラリア	129.9		124.7	5.2	32.0		7.0	25.0	306%
25 デンマーク*	76.8		30.7	46.1	80.7		32.3	48.4	-5%
26 ポルトガル*	49.0		3.9	45.1	62.6		4.4	58.2	-22%
27 ルーマニア	34.7	u	24.6	10.1	36.4		25.8	10.6	-5%
28 アルゼンチン	33.3		14.3	19.0	26.7		12.8	13.9	25%
合計	66,328.9		48,233.4	18,095.5	54,711.7		39,112.1	15,599.7	21%
●ブロック別シェア	2010年			2009年					
アジア	40,648.0		61%	27,609.4		50%			47%
*CECIMO(西欧)	21,910.7		33%	23,278.4		43%			-6%
北南米	3,365.8		5%	3,526.3		6%			-5%

注：c：断片的資料からの推定。 \$：USドルでの報告。 u：2009年の数値(10年レートでドル換算)。原データは切削/成形比率のみを発表しているため、編集部で小数点以下第2位を四捨五入で換算。

出所：METALWORKING Insiders ' Report/Gardner Publications, Inc.

2010年 世界の工作機械需給

国別消費額

(単位：百万ドル)

	2010年	2009年	対前年比伸び率 米ドル換算
1 中国	27,280.0	19,790.0	38%
2 ドイツ	5,033.9	5,798.4	-13%
3 日本	4,445.3	3,239.5	37%
4 韓国	4,264.0	2,679.0	59%
5 イタリア	2,768.7	2,799.1	-1%
6 米国	2,752.3	3,245.6	-15%
7 インド	1,740.0	1,205.0	44%
8 台湾	1,505.5	867.5	74%
9 ブラジル	1,488.3	1,488.3	0%
10 ロシア	1,242.9	1,189.0	5%
11 メキシコ	1,012.6	1012.6	0%
12 トルコ	834.0	580.2	44%
13 スイス	824.3	909.1	-9%
14 カナダ	783.2	738.4	6%
15 フランス	680.9	851.0	-20%
16 スペイン	494.1	557.6	-11%
17 オーストリア	487.9	633.5	-23%
18 英国	401.5	381.2	5%
19 オランダ	314.0	314.3	0%
20 ベルギー	266.3	324.0	-18%
21 スウェーデン	254.1	466.2	-45%
22 オーストラリア	250.8	180.0	39%
23 ルーマニア	204.1	214.2	-5%
24 アルゼンチン	141.1	145.9	-3%
25 チェコ	128.0	226.0	-43%
26 フィンランド	98.0	166.9	-41%
27 ポルトガル	96.7	112.6	-14%
28 デンマーク	82.1	86.2	-5%
合計	59,874.6	50,201.3	19%

国別輸出額

	2010年	2009年
1 日本	7,832.7	4,215.9
2 ドイツ	6,623.6	7,247.3
3 イタリア	3,298.5	3,335.8
4 台湾	2,995.1	1,739.9
5 スイス	1,821.1	1,832.0
6 中国	1,800.0	1410.0
7 韓国	1,678.0	1212.0
8 米国	1380.4	1235.2
9 オーストリア	726.6	657.4
10 スペイン	601.4	767.6
11 英国	594.6	556.3
12 ベルギー	581.6	678.6
13 フランス	499.4	539.5
14 トルコ	401.0	357.8
15 チェコ	358.0	423.0
16 オランダ	296.7	296.2
17 カナダ	250.0	235.2
18 スウェーデン	238.7	200.2
19 フィンランド	132.5	133.5
20 ブラジル	123.1	123.1
21 オーストラリア	94.1	135.0
22 デンマーク	82.1	86.2
23 ルーマニア	66.0	69.3
24 ロシア	65.9	63.0
25 ポルトガル	37.1	47.3
26 メキシコ	36.3	36.3
27 インド	35.0	12.0
28 アルゼンチン	16.7	21.1
合計	32,666.2	27,666.7

注：消費=(生産+輸入)-輸出
 \$：USドルでの報告。
 c：推定値。
 u：2009年の数値
 (10年レートでドル換算)
 上記統計は再輸出を含む。

注：\$：USドルでの報告。
 c：推定値。
 u：2009年の数値
 (10年レートでドル換算)
 上記統計は再輸出を含む。

国別輸入額

(単位：百万ドル)

対前年比伸び率 米ドル換算	生産高比(2010)
86%	66%
-9%	68%
-1%	64%
72%	79%
-1%	83%
28%	9%
38%	37%
12%	68%
11%	80%
-22%	74%
7%	126%
-14%	184%
-7%	99%
12%	72%
-15%	103%
0%	80%
6%	54%
19%	96%
-1%	88%
0%	17%
-30%	72%
-5%	107%
-5%	190%
5%	27%
-22%	76%
0%	27%
192%	7%
-21%	50%
18.1%	—

(単位：百万ドル)

	2010年		2009年		対前年比伸び率 米ドル換算	消費高比 (2010)
1 中国	9,100.0		5,900.0		54%	33%
2 米国	2,106.5		2,261.9		-7%	77%
3 ドイツ	1,907.6		2,245.7		-15%	38%
4 韓国	1,444.0		1,133.0		27%	34%
5 インド	1,250.0		939.0		33%	72%
6 ロシア	1,069.1	u	1022.7		5%	86%
7 メキシコ	916.4	uc	916.4	c	0%	90%
8 イタリア	900.8		892.7		1%	33%
9 ブラジル	897.2	uc	897.2	c	0%	60%
10 台湾	697.3		340.9		105%	46%
11 トルコ	680.0		496.7		37%	82%
12 フランス	676.9		832.9		-19%	99%
13 カナダ	573.6		539.6		6%	73%
14 ベルギー	531.2		634.1		-16%	200%
15 英国	525.1		499.1		5%	131%
16 スイス	460.1		576.6		-20%	56%
17 日本	436.2		448.4		-3%	10%
18 オーストリア	305.6		393.5		-22%	63%
19 スペイン	283.5		289.2		-2%	57%
20 スウェーデン	243.2		433.1		-44%	96%
21 オランダ	241.1		240.6		0%	77%
22 ルーマニア	235.4		247.1		-5%	115%
23 オーストラリア	215.0		283.0		-24%	86%
24 チェコ	140.0		216.0		-35%	109%
25 アルゼンチン	124.5		140.3		-11%	88%
26 デンマーク	87.4		91.8		-5%	106%
27 ポルトガル	84.8		97.3		-13%	88%
28 フィンランド	79.5		147.4		-46%	81%
合計	26,212.0		23,156.2		13.2%	—

注：\$：USドルでの報告。

c：推定値。

u：2009年の数値

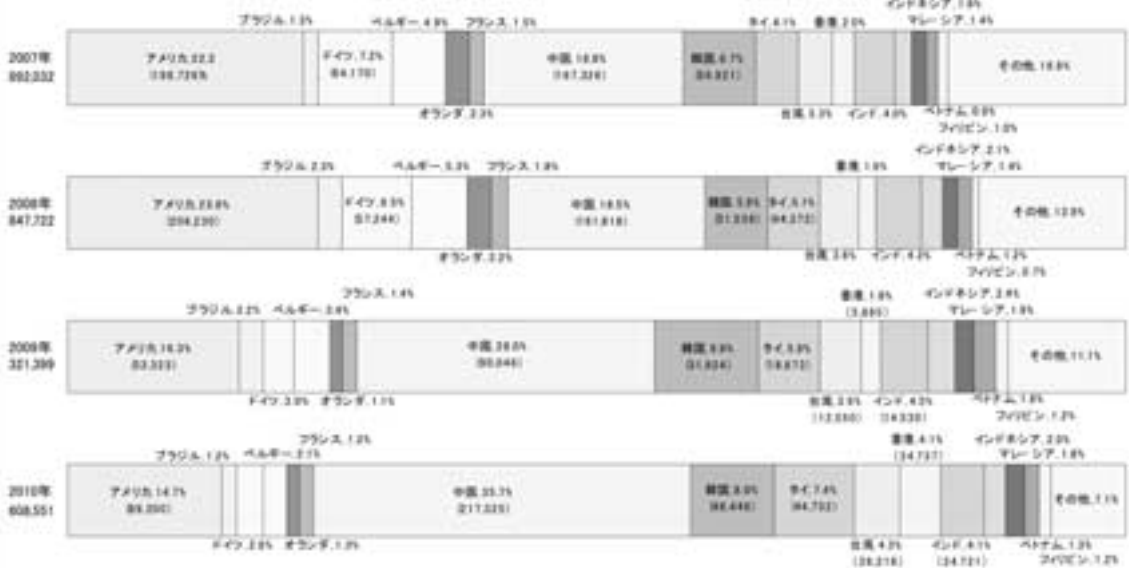
(10年レートでドル換算)

上記統計は再輸出を含む。

出所：METALWORKING Insiders ' Report/Gardner Publications, Inc.

主要相手国別輸出額構成

(単位：百万ドル)



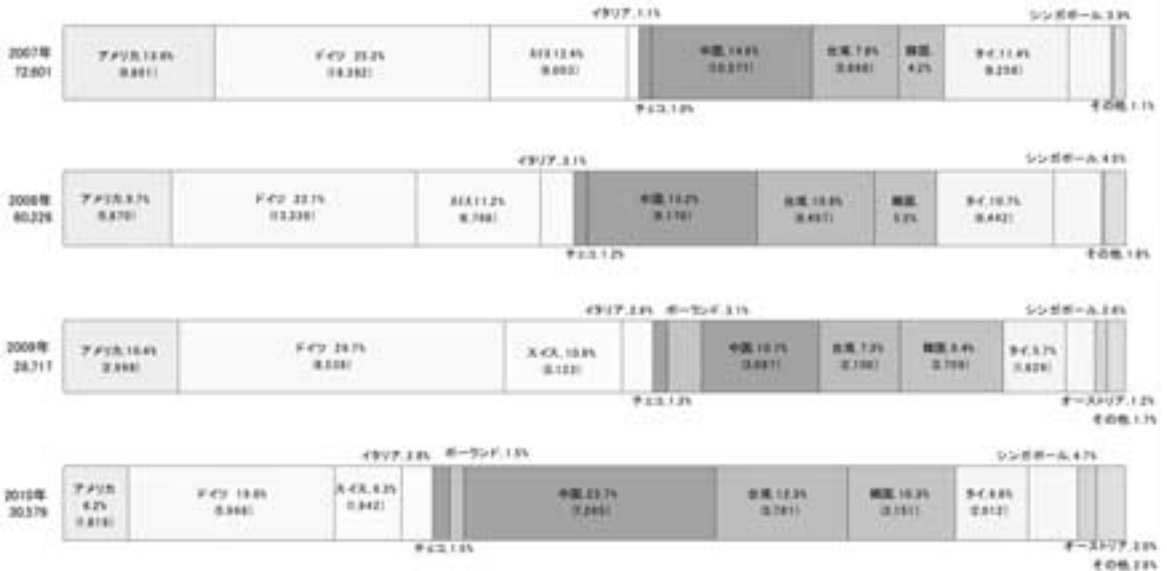
出所：財務省貿易統計

コメント(主要相手国別輸出額構成)

- ・ 2010年輸出額全体は、2009年比189%の状況。輸出額200億円以上を見ると香港419%、中国241%、タイ237%、台湾208%、インド171%、アメリカ170%、韓国152%の増となっている。

主要相手国別輸入額構成

(単位：百万ドル)



出所：財務省貿易統計

コメント(主要相手国別輸入額構成)

- ・ 2010年輸入額全体は2009年比107%の状況。中国235%、台湾179%、タイ124%、韓国116%の増となっている。減少はドイツ、スイス、アメリカで約3割の減となっている。

工作機械業種別受注額(2011年2・3月)

(単位:百万ドル)

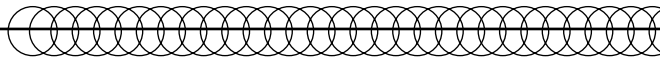
4月19日発表

需要業種	期間		2010年度 累計	前年比	2010年度 累計	前年比	2011年 1~3月 累計	前年同期比	2月分	前月比	前年同月比	3月分	前月比	前年同月比
	2010年 累計	2011年 1~3月 累計												
1. 鉄鋼・非鉄金属	6,061	149.5	7,540	160.1	2,595	745	81.9	218.5	940	126.2	222.2			
2. 金属製品	11,218	171.1	12,930	179.4	3,767	1,476	93.1	343.3	706	47.8	63.5			
3. 一般機械 (内金型)	125,580	182.2	150,544	195.7	45,924	17,797	132.9	243.0	14,733	82.8	196.5			
4. 自動車 (内自動車部品)	89,373	263.9	101,805	215.1	28,786	8,705	86.7	135.2	10,044	115.3	125.1			
5. 電気機械	59,733	351.9	67,450	242.3	19,036	5,813	83.2	124.1	6,237	107.3	178.6			
6. 精密機械	19,231	154.0	21,645	161.0	5,549	3,048	215.6	270.5	1,087	35.7	97.8			
5~6. 電気・精密計	21,461	280.0	22,317	212.8	4,983	1,688	87.5	120.5	1,365	80.9	86.6			
7. 航空機・造船・運送用機械	40,692	201.9	43,962	183.7	10,532	4,736	141.6	187.3	2,452	51.8	91.2			
3~7. 小計	14,049	125.6	15,581	133.4	3,469	1,599	192.7	170.1	1,040	65.0	322.0			
8. その他製造業	269,694	201.1	311,892	195.1	88,711	32,837	119.0	190.6	28,269	86.1	178.4			
9. 官公庁・学校	10,485	201.4	11,078	151.3	3,329	1,172	133.8	159.2	1,281	109.3	101.6			
10. その他需要部門	3,292	70.1	3,529	73.0	952	144	74.2	67.0	614	426.4	472.3			
11. 商社・代理店	4,956	142.8	4,768	133.9	869	480	133.0	112.7	28	5.8	7.6			
1~11. 内書合計	1,821	117.3	1,854	121.6	428	145	172.6	96.0	199	137.2	133.6			
12. 外書合計	307,527	192.6	353,591	187.1	100,651	36,999	117.0	189.5	32,037	86.6	166.1			
1~12. 受注累計	671,095	266.1	760,013	212.2	230,064	75,654	103.7	167.1	81,449	107.7	144.0			
(内NC機)	978,622	237.6	1,113,604	203.5	330,715	112,653	107.7	173.9	113,486	100.7	149.6			
	934,229	238.0	1,070,873	204.9	323,434	109,925	107.5	177.6	111,225	101.2	153.3			

販売額	851,272	142.6	963,307	173.1	299,720	90,338	123.5	166.5	136,217	150.8	147.9
(内NC機)	814,732	141.4	927,163	173.5	290,800	87,849	124.6	170.3	132,473	150.8	151.7
受注残高	508,446	132.9	540,050	138.1	540,050	562,054	104.0	138.4	540,050	96.1	138.1
(内NC機)	478,868	135.2	512,114	141.1	512,114	532,634	104.2	141.5	512,114	96.1	141.1

(注) その他製造業 …… 楽器、皮革製品等の製造業

出所:(社)日本工作機械工業会



日工販SE合格者 第182回 発表

今回は3月の合格者11名と4月の合格者12名です。

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
11-20-2508	(株)Na I T O	土澤 仁	11-20-2519	(株)兼松 K G K	能美 孝好
11-20-2509	(株)Na I T O	藤代 勝	11-20-2520	(株)Na I T O	山崎 滋一
11-20-2510	(株)Na I T O	鈴木雄一郎	11-20-2521	(株)東 陽	黒崎 康輔
11-20-2511	三菱商事テクノス(株)	桧枝 貴史	11-20-2522	(株)東 陽	柴田 耕作
11-20-2512	三栄商事(株)	篠田 将良	11-20-2523	(株)山 善	玉田 寛幸
11-20-2513	(株)東 陽	比楽 守貴	11-20-2524	(株)山 善	富永 宗志
11-20-2514	(株)森精機製作所	前垣 憲志	11-20-2525	三菱電機(株)	大津 守
11-20-2515	(株)森精機製作所	中野 晃樹	11-20-2526	(株)森精機製作所	川崎 裕文
11-20-2516	(株)森精機製作所	大田 茂夫	11-20-2527	(株)森精機製作所	浅田 富雄
11-20-2517	日立キャピタル(株)	南口 幸也	11-20-2528	(株)森精機製作所	ファフライナー 太郎
11-20-2518	ひろぎんリース(株)	川上 裕充	11-20-2529	(株)ナベヤ	上田 祐樹
			11-20-2530	春日鋼機(株)	田中 豊

会員・業界消息

会員代表者変更 ... メーカー賛助会員 大阪機工(株) 執行役員営業本部長 藤村 博
 シチズンマシナリーミヤノ(株)
 執行役員ミヤノカンパニー営業本部本部長 長沢俊幸
 (株)太陽工機 管理部総務課マネージャー 内藤宣夫
 富士機械製造(株) 工作機械事業部営業部長 後藤智久

行事予定

第42回通常総会	6月8日(水)	八重洲富士屋ホテル
SE教育「基礎講座」第1回	6月16～18日(木～土)	日本工業大学
政策委員会・定例理事会	7月6日(水)	機械工具会館
政策委員会・定例理事会	9月15日(木)	大阪産業創造館
SE教育「SE講座」(名古屋)	10月6～8日(木～土)	I.M.Yビル
SE教育「SE講座」(大阪)	10月13～15日(木～土)	新梅田研修センター
SE教育「SE講座」(東京)	10月20～22日(木～土)	機械工具会館
政策委員会・定例理事会	11月10日(木)	安保ホール
SE教育「更新研修」(名古屋)	11月11～12日(金、土)	I.M.Yビル
SE教育「更新研修」(東京)	11月25～26日(金、土)	機械工具会館

展示会

MEX金沢2011(第49回機械工業見本市金沢) ...	5月19日(木)～21日(土)	石川県産業展示館
微細・精密加工技術展2011	5月25日(水)～27日(金)	インテックス大阪
スマートグリッド展&次世代自動車産業展	6月15日(水)～17日(金)	東京ビックサイト

行事予定

難加工技術展2011	7月6日(水)~8日(金)	ポートメッセ名古屋
プレス・板金・フォーミング展 MF-Tokyo 2011	8月3日(水)~6日(土)	東京ビックサイト
EMO HANNOVER 欧州国際工作機械見本市	9月19日(月)~24日(土)	Hannover国際展示場
MECT2011メカトロテックジャパン	9月29日(木)~10月2日(日)	ポートメッセなごや
測定計測展 Measuring Technology Expo 2011	10月12日(水)~14日(金)	東京ビックサイト
次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXPO 2011	10月19日(水)~22日(土)	ポートメッセなごや
2011国際ロボット展	11月9日(水)~12日(土)	東京ビックサイト

編集後記

2011年Vol. 1をお届けします。今年度より発行予定月がこれまでと変わり5月にVol. 1、以降7月、10月そして来年1月、2月の発行となります。尚、JIMTOFが開催される年は12月にも発行となり年6回となります。

3月11日に発生した東日本大震災により亡くなられた多くの方々のご冥福をお祈りするとともに被災された皆様へお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興への一助として日工販としては東北地方太平洋沖地震東京都義援金口座に寄付を致しました。

阪神淡路大震災では、被害の多くは震災による建造物の崩壊そして火災でしたが、今回は震災による崩壊、火災に加えて想像を絶する津波が一瞬にして生活、家族、仕事を奪ってしまいました。更には原子力発電所を破壊し電力をも奪いました。今回の大震災に遭遇して改めて認識させられたことは沢山あります。まず我が国は海に囲まれ地震、津波、台風といった自然の脅威にさらされている島国であること。原発事故のように最先端の技術がマイナス方向に向かった時の恐ろしさ。いかに電気中心の生活をしてきたか等等。そして私達がかかわる自動車、電機などの産業界に対して東北地方が中核となる部品、原材料などの供給面でいかに重要な役割を果たしてきたかが改めてクローズアップされています。

日工会発表の3月受注確報によりますと、内需320億円、外需815億円と引き続き1,000億円超の1,135億円となりました。この結果により平成22年度の受注総額は前年度比103.5%増の1兆1,136億円となり3年振りの1兆円台となりほぼリーマン・ショック前の受注水準に戻ったと言えます。しかしながら平成22年度は受注総額の約7割を外需が占めており内需は総額3,536億円と好調な時期の7,000億円台にははるかに及ばず未だ復調したとは言えないと思います。昨年11月より300億円を超え、少しずつ増加を続け2月には400億円に手が届くようになり内需復活に期待が持てる明るい兆しが見えてきた矢先に東日本大震災が発生しました。内需復活には時間がかかると思われますが、まずは被災地そして我が国の経済が一日でも早く回復することを願わずにはいられません。

「日工販ニュース」 Vol. 1 - 2011

平成23年5月15日発行

発行	日本工作機械販売協会 〒108-0014 東京都港区芝 5-14-15 機械工具会館3階 電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879
発行責任者	専務理事 宇佐美 浩
編集	日工販調査広報委員会 委員長 田尻 哲男

日本工作機械販売協会 会員会社一覧 (五十音順)

平成23年5月1日現在

正会員(全69社)

[東部地区(33社)]

(株) 旭 商 工 社
 (株) 伊藤忠マシンテクノス
 (株) 今井機械工業
 (株) 大石機械
 (株) カナデン
 (株) カネコ・コーポレーション
 (株) 兼松 K G K
 (株) 京 二
 (株) 共 和 工 機
 (株) 群馬工機
 (株) 国 興
 (株) 三 機 商 会
 (株) 三 洋 マ シ ン
 (株) サ ン ワ 産 業
 (株) シ マ モ ト 技 研
 (株) 住友商事マシネックス
 (株) セイロジャパン
 (株) 誠和エンジニアリング
 (株) 双日マシンナリー
 (株) 帝通エンジニアリング
 (株) テ ヅ カ
 (株) ト ミ タ
 (株) 豊通マシナリー
 (株) N a I T O
 (株) ナチ常盤
 (株) 日鋼商事
 (株) 藤田総合機器
 (株) 丸紅マシンツールズ
 (株) 三井物産マシンテック
 (株) 三菱商事テクノス
 (株) ヤマモリ
 (株) ユアサ商事
 (株) 米沢工機

[中部地区(20社)]

(株) 石原商事
 (株) 井 高
 (株) 岡谷機販
 (株) カトー機械
 (株) 釜屋
 (株) 岐阜機械商事
 (株) 甲信商事
 (株) 三栄商事
 (株) 三機商事
 (株) サンコー商事
 (株) 三立興産
 (株) 下野機械
 (株) 大 成
 (株) 大 誠

(株) 東 陽
 (株) 日本精機商会
 (株) 浜松貿易
 (株) 不二
 (株) 山下機械
 (株) ワシノ商事

[西部地区(16社)]

(株) 赤澤機械
 (株) 伊吹産業
 (株) 植田機械
 (株) おじま
 (株) 関西機械
 (株) 京華産業
 (株) 五誠機械産業
 (株) 桜井機械
 (株) ジーネット
 (株) 大幸産業
 (株) 立花エレテック
 (株) 西川産業
 (株) 日本産商
 (株) マルカキカイ
 (株) 宮脇機械プラント
 (株) 山 善

賛助会員(全74社)

[製造業(58社)]

(株) アマダマシンツール
 (株) 育良精機
 (株) エグロ
 (株) エヌティーツール
 (株) M S T コーポレーション
 (株) エンシュウ
 (株) オーエスジー
 (株) オークマ
 (株) 大阪機工
 (株) 岡本工作機械製作所
 (株) カワイエンジニアリング
 (株) 神崎高級工機製作所
 (株) 北川鉄工所
 (株) キタムラ機械
 (株) 北村製作所
 (株) キヤムタス
 (株) 黒田精工
 (株) コマツ N T C
 (株) C & G システムズ
 (株) ジェイテクト
 (株) シギヤ精機製作所
 (株) シチズンマシナリーミヤノ
 (株) 新日本工機
 (株) 住友電工ハードメタル

(株) ソディック
 (株) 大昭和精機
 (株) 太陽工機
 (株) 高松機械工業
 (株) 滝澤鉄工所
 (株) ツガミ
 (株) 津田駒工業
 (株) 東京精密
 (株) 東芝機械
 (株) 東洋精機工業
 (株) ナガセインテグレックス
 (株) 中村留精密工業
 (株) 日研工作所
 (株) 日進製作所
 (株) ハイデンハイン
 (株) 浜井産業
 (株) 日立ツール
 (株) ファナック
 (株) 富士機械製造
 (株) ブラザー工業
 (株) 豊和工業
 (株) 牧野フライス精機
 (株) 牧野フライス製作所
 (株) 松浦機械製作所
 (株) 三井精機工業
 (株) ミットヨ
 (株) 三菱重工業
 (株) 三菱電機
 (株) 三菱マテリアルツールズ
 (株) メルダシステムエンジニアリング
 (株) 森精機製作所
 (株) 安田工業
 (株) ヤマザキマザック
 (株) 吉川鐵工

[リース業(16社)]

(株) N T T ファイナンス
 (株) 共友リース
 (株) 近畿総合リース
 (株) 興銀リース
 (株) 首都圏リース
 (株) 昭和リース
 (株) J A 三井リース
 (株) 住信・パナソニックフィナンシャルサービス
 (株) 東銀リース
 (株) 東芝ファイナンス
 (株) 日本機械リース販売
 (株) 日本 G E
 (株) 日立キャピタル
 (株) 三井住友ファイナンス&リース
 (株) 三菱電機クレジット
 (株) 三菱 U F J リース